

将来都市像の検討

1 過去の計画 ～ 市民憲章を基調としてきた経過

- 市民憲章：わたしたちは、生き生きとした緑の中の岩見沢市民です
- 総合計画（基本構想）
 - 新しい岩見沢市総合計画（H12） 「生き生きとした緑の中の安全・健康・文化都市」
 - 新岩見沢市総合計画（H20） 「人・地域が輝く、緑と活力に満ちた文化都市」

2 市民アンケートから

- 岩見沢市の特性（「緑」「自然」「安全・安心」）に対する高い評価
- 市民が理想とする将来像 「災害に強く、安全・安心なまち」
「いつまでも元気に暮らすことのできる健康のまち」

3 市民ワークショップから ～ 概ねの傾向・総意

- 自然や緑、景観に対する高い評価
- 総合的なバランスのよさ（立地・アクセス性、農村・田園と都市とのバランス）
- 理想とするまちづくりに向けて（支持が多かったもの）
 - 「情報発信」「人が集う」「あなたと（みんなで）つくる」
 - 「都市のバランスを活かす」「打って出る」等

ポイント

- 自然（緑）という基調は、大多数の市民の共感を得られている。
- キーワード（候補）

安全・安心・やすらぎ・快適	健康・元気
交流・にぎわい・ふれあい	協働・協創
- 10年後の都市像 ⇒ 現状肯定だけではない、将来に向けたメッセージが必要
成長・躍動・希望・活力



将来都市像

豊かな自然環境や先人から受け継がれてきた歴史・文化を大切に守り育てながら、多様な「地域資源」や協働による「地域力」を結集し、新たなまちの魅力や活力を創出することにより、人が集い、誰もが安心して快適に暮らすことができ、住み継がれる、元気で健康なまちづくりをめざします。

（参考）市内の他の個別計画等における基本理念等

- 地域福祉計画「人もまちも元気で健康に」
- 都市計画マスタープラン「みどりと人のつながりで作る安全・健康・文化都市いわみざわ」
- 子ども・子育てプラン「ひとの絆で紡ぐ 笑顔の輪」
- 障がい者福祉計画「だれもが自分らしく暮らせる共生のまちづくり」